

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

## 跳ぶ回数を増やそう！

～作戦会議を重ねて～

1月の持久走大会を終え、今度は子どもたちは、3月3日（火）の縄跳び集会に向けて、朝の時間や体育の時間に大縄の練習を行っています。この大縄練習は、1・2・3年生と4・5・6年生に分かれてそれぞれ跳ぶもので、先生たちが大きく回す大縄を、列に並んだ子どもたちが一斉に跳び、その回数を数えています。

2月18日（水）の朝の時間も、大縄の練習が始まりました。私は、高学年の練習の様子を見ていました。

並んだ列の中央にいる子どもたちは縄の動きが見えやすい横を向き、それ以外の子は、自分に近い端の方に体を向けています。「ちょっと詰めて」との声も聞こえてきました。高学年全員が一斉に跳ぶためには、並び方や隣の人との距離間が大事になってくるようです。

さあ、チャレンジです。1・2・3・・・。すぐに引っかかってしまいました。もう一度チャレンジ。しかし、記録が伸びません。以前20回跳べたことがあるそうで、子どもたちが集まって、もう一度20回跳ぶための作戦会議が始まりました。「跳ぶリズムが遅れている」「跳ぶときにもっと足を上げた方がよい」「1列と2列をつくって跳ぶといい」等、さまざまな意見が出されています。

この高学年の作戦会議で音頭を取っているのは、6年生です。いろんな意見を聞きながら、次の作戦をまとめ、指示を出しています。実は6年生は、大縄の練習を始める際に、どのような跳び方をすると記録が伸ばせるか、自分たちで調べてもいたのだそうです。大変頼もしい6年生です。

作戦会議をふまえ、列の並び方を、中央2列それぞれを1列にし、再度チャレンジです。1・2・3・・・20・21！

とうとうめざす20回を超えることができました。みんな達成感であられる顔つきをしています。

1月から続けてきた大縄練習。練習の度に作戦会議を繰り返し、試行錯誤を重ねてきた高学年。1月の練習開始時は、10回も跳べませんでしたでしたが、その記録



が徐々に伸びてきています。

縄跳び集会までまだ時間があります。さらに記録が伸びるように、6年生を中心に試行錯誤を重ね、チャレンジし続ける高学年です。

## 新委員会活動スタート

3年生の委員会見学については、本通信1月20日号でもお知らせしましたが、2月から、6年生に代わり3年生が所属する新委員会活動がスタートしました。ただ、これまでリードしてきた6年生が急にいなくなれば、それまでの仕事が機能しないこともあり、引き継ぎ時期では、6年生の支援・助言が必要です。

給食後、全校の食器などの片づけのお世話を、保健体育委員会が行っており、この日は3年生が担当していました。その隣に、1月までその仕事をしてきた6年生が付き添っています。その6年生と一緒に片づけながら、「ここに置いて」と、コンテナ内の食缶を置く位置を3年生にやさしく教えてあげています。



6年生は、片づけの記録用紙の記入の仕方も見てあげて、「間違っていないよ。いいよ！」と声をかけてあげています。3年生を応援する気持ちが、声の様子から大変伝わってきます。3年生は、6年生の声かけに、自分の仕事ぶりの確かさを確認するとともに、勇気づけられたようです。

頼りになる6年生が、仕事とともに下級生に対する上級生としての振る舞いも、しっかり引き継ぐことでしょう。

## とどろきの里への3年生の訪問

2月16日（月）、3年生が、地域にあるデイサービスセンター“とどろきの里”で、利用者の皆さんと交流しました。

子どもたちの自己紹介の後、音楽の授業で学習した歌やリコーダー、また運動会で踊った踊りを披露しました。利用者の皆さんは、真剣な眼差しで子どもたちの発表の姿を見つめてくださり、時には手でリズムをとりながら音楽を楽しんでくださいました。



その後、けん玉やダルマ落とし等を一緒に行い、楽しい時間を過ごすことができました。

また、この折に、空き缶回収の収益を寄贈させていただきました。

地域の皆様にもご協力いただいております空き缶回収の収益金で、歩行訓練で使っていただく「ミニバイク」を購入し、目録を寄贈させていただきました。皆様のご協力に、この場を借りて感謝申し上げます。